

建築用断熱材

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	6.1.1	試験片は…試験片を作成する。	試験片は…試験片を作製する。
	6.1.2 第2段落	なお、気乾状態とは…恒量であることを確認したものとする。	なお、気乾状態とは…恒量であることを確認したものとする。ただし、ホルムアルデヒド放散特性試験は 6.5.2 による。
	6.1.3	試験片の状態調節及び試験場所は、次による。ただし、ホルムアルデヒド放散特性試験は 6.5.3 による。また、熱伝導率試験は次の a)及び 6.6.3 b)による。	試験片の状態調節及び試験場所は、次による。ただし、ホルムアルデヒド放散特性試験は 6.5.3 による。
	6.2.2	試験片は、試料の周辺部を除く中央部分から採取する。	試料は通常、製品から抜き取り、試験片は、原寸試料又は試料の周辺部を除く中央部から切り出したものとする。
	6.2.3 b)	試料は、製品から採取するものとし… 6.5.3 a)によって試験片を作成する。	試料は、製品から採取するものとし… 6.5.3 a)によって試験片を作製する。
	6.4.2 c) 2)	厚さは、試験体の周辺から…4 点の平均値を求めて板の厚さとする。	厚さは、試験体の周辺から…4 点の平均値とする。
	6.5.2 表 14 種類のファイバーボード厚さ 9~60 の幅×長さ×試験片数の欄	147×147×2 個	147×147×1 個
	6.6.2 a)	試験片は、製品から…製品から抽出する数量は、1 枚の板から 1 枚とする。	試験片は、製品から…製品から抽出する数量は、1 枚の製品から 1 枚とする。
	6.6.3 a)	試験片は、6.2.3 b)の試料から作成し、JIS A 1412-2 の 3.2.2.1 b) (養生) に規定する養生を行う。	試験片は、6.2.3 による。
	6.6.3 b) 1)	熱伝導率は平均温度は 23 °C±1 °C の値とする。	熱伝導率は、平均温度 23 °C±1 °C の値とする。
	6.7.2 a)	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の板から 1 枚とする。	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の製品から 1 枚とする。
	6.7.2 b) 第2段落	なお、厚さは…密度は 10 kg/m ³ 単位まで算出する。	なお、厚さは…密度は 1 kg/m ³ 単位まで算出する。
	6.8 a) 1)	試験片は…切り出して作成する。	試験片は…切り出して作製する。
	6.8 c) 3)	透湿係数が小さい試料…ブランク試験体を作成して…補正する。	透湿係数が小さい試料…ブランク試験体を作製して…補正する。
	6.9 a) 1)	試験片は、6.2.3 b)…作成する。	試験片は、6.2.3 b)…作製する。

区分	位置	誤	正
本体	6.9 c) 2)	ポリエチレンフォーム保温材は…する。	ポリエチレンフォーム断熱材は…する。
	6.10.1 a)	試験片は、製品厚さのまま…スパンは表示厚さの 15 倍とし…する。製品から抽出する数量は、1 枚の板から 1 枚とする。	試験片は、製品厚さのまま…スパンは製品の呼び厚さの 15 倍とし…する。製品から抽出する数量は、1 枚の製品から 1 枚とする。
	6.13 a)	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の板から 1 枚とする。	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の製品から 1 枚とする。
	6.14 a)	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の板から 1 枚とする。	試験片は、製品厚さのまま…製品から抽出する数量は、1 枚の製品から 1 枚とする。
	8.3 表 18 種類又は製品記号： IM の熱抵抗の欄	R2.5	R2.4
種類又は製品記号： DIB の熱抵抗の欄	R0.8	R0.7	
種類又は製品記号： PUF2.1 の熱抵抗の欄	R2.2	R2.1	
種類又は製品記号： フェノールフォーム 断熱材 1 種 2 号 AI の 熱抵抗の欄	R2.3	R2.2	

平成 27 年 7 月 1 日作成